

## チャンギ空港の新名所「JEWEL」オープン

シンガポール駐在員事務所  
島 宗辰

シンガポールの玄関口であるチャンギ空港に新しい大型商業施設「JEWEL（ジュエル）」がオープンしました。今回はこの「JEWEL」についてレポートしたいと思います。

「JEWEL」は2019年4月17日に、工事期間4年、費用約14億円をかけてオープンしました。総床面積約12,700㎡（地上5階、地下5階建て）、280以上の店舗を持つ大型商業施設であり、シンガポール初上陸のお店（約60%が初出店）も多く開店しています。また、アクセスもチャンギ空港のターミナル1,2,3からそれぞれ徒歩でのアクセスが可能（ターミナル4からはシャトルバスで移動）となっており、地元シンガポールだけでなく、旅行客のアクセスも非常に便利なロケーションとなっています。



【JEWELの外観】



【和菓子店】

日本のお店も日本食レストランはもちろんの事、東急ハンズ、ユニクロ、和菓子の源吉兆庵やポケモンセンター（アジア地区初の常設の公式ポケモン専門店）等も出店しています。源吉兆庵ではマレー系やインド系の人が和菓子の買い物を楽しむ等、ラーメンや寿司以外の日本食の拡がりを見ることができました。また、ポケモンセンターではシンガポール限定のグッズが販売されていることもあり、連日大盛況の様です。

「JEWEL」はショッピングや食事を楽しむだけではなく、様々なアトラクションが用意されています。その中でも一番目を引くのは商業施設の中心に作られた高さ40メートルの巨大な人口滝「Rain Vortex（レインボルテックス）」です。2019年4月現在、この「Rain Vortex」は屋内に作られた人工滝では世界一の高さとなっています。夜になると毎日19時30分から1時間おきに約5分間のプロジェクションマッピング（滝がスクリーン）のショーを見ることができます。



【昼間の滝】



【夜のショー】

空港に直結していることもあり、商業施設内での搭乗手続きが可能な点も「JEWEL」の大きな特徴です。日本帰国時に早めに空港に到着し、搭乗手続き、荷物を預けてから「JEWEL」を楽しんでみてはいかがでしょうか？

空港を単なる移動に使う施設ではなく、巨大な観光施設に変化させることで収益チャンスを逃がさないチャンギ空港の姿勢には感服させられます。日本でも駅ナカなどで駅周辺が商業施設化してきていますが、地方空港にもまだまだ収益化のチャンスがあるのかもしれません。